

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
貞享義民記念館 Tel.77-7550	白鳥写真愛好会写真展 白鳥たちの安曇野	9月14日(土)～23日(月・祝) 1階企画展示室	費無料(要入館料)
穂高陶芸会館 Tel.82-6750	自由に描けるマイカップ作り	9月14日(土) 午前の部 9:30～ 午後の部 13:30～ (各回約2時間30分)	対18歳以上 費1,200円(陶土500円込) 定各回20人(先着順) 申8月27日(火)から電話で
文書館 Tel.71-5123 Fax.71-5127	講座 白井と紡ぐ ■平沢重人(文書館・白井吉見文学館館長)	9月15日(日) 13:30～15:00(開場13:00) 堀金公民館講堂	費無料 定100人(先着順) 申8月27日(火)から電話・ファクス・ 電子メール(☎bunshokan@city.azumino.nagano.jp)で
安曇野高橋節郎 記念美術館 Tel.81-3030	高橋節郎生誕110年記念音楽会 野田裕子 二胡の夕べ 曲目 シルクロード・少年時代 ほか	9月15日(日)18:00～19:30 主屋	費無料 定100人(当日先着順)
	漆塗りはし加飾講座 ■佐々木岳人さん・新井寛生さん (東京藝術大学)	①9月21日(土)②10月19日(土) 13:00～16:30 メディアフォーラム	費2,500円 定各回15人(先着順) 申8月28日(水)から電話で
穂高交流学習 センター「みらい」 Tel.81-3111	～MIRAI～グランドピアノ無料開放	10月12日(土)・26日(土) 10:00～16:50(1組50分) 多目的交流ホール	対ピアノ経験者 費無料 定14組 申9月19日(木)から電話で 初めて参加する人は9月18日(水) から先行受付開始

■休館日、開館時間などは各施設へお問合せください

安曇野AIR

本物の漆でやってみよう!  
お皿絵付けワークショップ



9月20日(金)11:00～15:00(昼食休憩あり)  
場豊科交流学習センター「きぼう」学習室 対中学生以上  
講小林このみさん 費無料 定5人(先着順) 持マスク、昼食  
申8月27日(火)から9月13日(金)に電話で 問文化課 Tel.71-2463

信濃史学会 地方史講座  
養蚕と女性



10月6日(日)13:30～15:35  
場穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール  
講倉石あつ子さん(元跡見学園女子大学教授)  
費無料 申不要 問文化課 Tel.71-2465

**第24回 コラム 市誌編さんだより**

**安曇野にとって古墳時代後期は大転換期**

昭和62年、国道147号穂高白金歩道橋北東の藤塚遺跡で発掘調査が行われ、古墳時代終わり頃(1400、1350年前)の竪穴建物址30軒、掘建柱建物址9棟が発見されました。30軒といっても、建物の跡が重なっている所もあることから、同時期にあった住居の数は10軒程と推察されます。住居址からは、西山山麓を中心に分布する穂高古墳群から出土する副葬品と同じ須恵器と呼ばれる焼き物や、馬の飼育に必要な馬具、糸に燃りをかける石製の紡錘車、耳飾りなどの装身具が出土しました。このことからこの遺跡は古墳を築いたムラのひとつと考えられています。

また、同じ時代に潮神明宮(明科東川手)付近に潮古墳群を築いた人々のムラが、会田川をはさんで南西側の栄町遺跡(明科支所建設時の調査)

藤塚遺跡出土土器

※ひとつの家が廃絶し埋もれた後に再び建てられるため

で見つかっています。このように古墳時代後期、安曇野では、それまでの小さなムラから大きなムラへと変容し始め、馬の飼育が開始され、農地拡大に向けた沢の開削、100基を超える古墳の築造など、これまでなかった文化・技術が見られるようになります。そして古墳時代末には、信濃国で最も古いとされる「明科廃寺」が造営されます。古墳時代後期はまさに大きな転換の時代と言えるでしょう。

市誌編さん専門調査会 考古部会  
専門調査員 山下泰永

市制施行 20 周年記念・田淵行男生誕 120 年記念  
**田淵行男賞** 第7回 写真作品募集



受賞作品は令和7年夏から市内、東京、大阪で開催する巡回展(ジュニアは市内のみ)で展示します。募集要領など詳細は記念館HPをご覧ください。



募集期間 2024 12月1日(日) ▶ 2025 2月28日(金)

- 一般の部** プロアマ問わず  
テーマ 山岳、動植物の生態、自然環境に関すること  
作品 5枚以上20枚以内の組み写真。四切(ワイド可)またはA4プリント。応募点数の制限なし。カラー、モノクロ、デジタル不問。
- ジュニアの部** 中学生以下(応募日時点)  
テーマ 自然の風景、野生の動植物  
作品 3枚の組み写真。A4プリント。応募点数の制限なし。
- 問い合わせ・申し込み**  
田淵行男記念館 Tel.72-9964

関連企画

田淵行男賞受賞者 澤井俊彦写真展 熊の記憶

第5回田淵行男賞を受賞した澤井俊彦さんの作品展を開催します。ツキノワグマの生態を追い続ける澤井さんの新作と受賞作品の一部も展示します。  
期9月10日(火)～12月1日(日)  
場記念館地階展示室 費高校生以上310円



新作 ツキノワグマ・21世紀の野生より「コバイケイソウ群落を行く」

文書館後期企画展  
小説『安曇野』  
完結 50 周年企画 邂逅



白井吉見と親交のあった著名人の書簡・葉書をもとに、白井の人となりを紹介しします。  
9月8日(日)～12月27日(金)  
場文書館 1階閲覧コーナー  
費無料 問文書館 Tel.71-5123

視力を失った  
天才ピアニスト 梯剛之  
子どもに伝えるクラシック



9月15日(日)10:30～11:30  
場「きぼう」多目的交流ホール 費無料  
対小学生以上 定180人(先着順)  
申8月26日(月)から電話で 問文化課 Tel.71-2463

安曇野高橋節郎記念美術館  
生誕 110 年記念展～RONDO つながり～



本年生誕110年を迎える高橋節郎。これを記念して豊田市美術館の所蔵作品と共に高橋が生涯かけて挑戦した表現の全貌を紹介しします。  
9月14日(土)～12月1日(日)  
費一般620円、高大生410円、中学生以下・70歳以上の市民は無料

特別展オープニングイベント 作品解説&座談会

9月14日(土)14:15～ 場展示室  
講田境志保さん(豊田市美術館副館長)、三澤新弥(市文化課長)  
費要入館料 申不要  
問安曇野高橋節郎記念美術館 Tel.81-3030